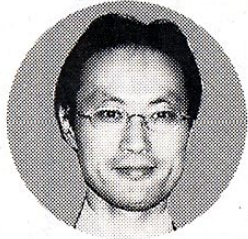


潮流

欧州を中心に、抗インフルエンザ薬のタミフルが効かない耐性ウイルスが広まっています。国立感染症研究所が昨年十月に行った調査で、鳥取県は六十八株のうち二十二株(32%)が耐性株で、国内平均の2・8%より大幅に高率であることが報告されました。

松田 隆

鳥取県中部医師会副会長
NPO法人未来副理事長



ウイルスでも同様に考え、洗い、十分な睡眠、栄養、バランスのとれた食事と、鳥取県でタミフルが保温が大切です。

使われ過ぎたわけではありませぬ。その原因は詳細な解析を待たなければなりません。

鳥インフルエンザウイルスが人から人に感染できるように突然変異する

呼吸器感染症状がある人

マスクをしないで咳をする、ウイルスが二つ三つ飛ぶといわれ、それを周囲の人が吸い込むと感染します。日本でも咳エチケットのキャンペーンが行われ、啓発が行われていますが、まだ十分とはいえません。咳エチ

ケットを習慣づけること

「そこから、世界にあまた蔓延する感染症の被害から身を守るため、今、私たちにできることを考え①感染症に関する正しい情報を知らせること②個人レベルでできる予防策③感染症の被害に苦しむ人々のためにできること」を啓蒙・奨励する活動として、感染症による健康被害から身を守るための「感染ゼロキャンペーン」の推進も行われてい

せき 咳エチケツト

日本を感染ゼロ列島にするには、新型インフルエンザの備えにもなります。

小児救急がコンビニ化

新型インフルエンザは誰にも対し、咳やくしゃみを免疫をもっておらず、国内では最大六十四万人が死亡する可能性があるといわれています。予防策は一般的なインフルエンザと同様で、うがい、手洗い、マスク着用だと考えられます。外から帰ったら、まづうがい、手

ベられてい

ます。『感染列島』という映画は、まさしく新型インフルエンザのような新しい感染症のパンデミック(爆発的な感染)で、人類が滅亡の危機にさらされるというストーリーのよう

です。自分を守る、それが大切な人を守ることも必要なのではないかと思

います。(倉吉市)